

怖い話 1 「靴」

ochazukenori

第1話「靴」

私は23歳のOLで一人住まいをしています

この部屋に引っ越して来て一年になります

私は綺麗好きでいつも靴を綺麗に並べないと嫌な性格です

ちょうど玄関は廊下の向こうで部屋からは四角になっていて見ないんです

ある日の事です

私が会社の新入社員歓迎会で酔って部屋に帰って来た時です

私がいつもどうり靴をちゃんと揃えて部屋に上がりそのまま寝てしまったのです

朝私が起きると玄関の靴が乱れていたのです

それも少し乱れている感じじゃなくて30センチほど靴が玄関の中を移動しているのです

私はおかしいなと思いましたが気のせいかなと思いそのまま会社に行ってしまいました

その日の夜会社から帰り玄関でちゃんと靴を揃えて部屋に上がりました

後ろで「ゴト」という音を聞きました

私が玄関を振りかえると

私が今脱いだ靴がまた30センチほど飛んでいるんです

そんなばかな

私はまた玄関の靴を揃え直しました

そして玄関を背にして一步步きました

そうしたらまた後ろの玄関の所で「ゴト」という音を聞きました

私はすぐに振り返ると

黄色の着物を着た6歳くらいの女の子が玄関にしゃがんで私の靴を投げていたのです

私はびっくりして立っていると

着物を着た女の子はスーと消えて行きました

そしてその着物の女の子は毎日私の靴を投げにあらわれるのです

私はその部屋を一週間後にでました

その後あの部屋には行っていません

不動産の壁には今もその部屋の物件が張ってあります

終わり

怖い話 1 「靴」

<http://p.booklog.jp/book/45365>

著者 : ochazukenori

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/ochazukenori/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/45365>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/45365>

電子書籍プラットフォーム : ブックログのpapier (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社paperboy&co.